



授業デザインミーティング実施

今年度、全校縦割りでの授業デザインミーティングを3回計画しています。1回目は、児童生徒の思いや願いを基に担任が考えた単元や授業内容について様々な意見、アイディアを出し合いました。今回は、高等部1年と高等部2年職業・家庭科の様子についてお伝えします。

高等部1年 授業デザインシート

学習グループの実態

- ・男子10名女子8名
- ・本校中学部卒業生7名
- ・外部中学校卒業生11名
- ・高等部に入学して1ヶ月が経ち、学校生活に慣れてきたところ。お互いを少しずつ理解し、友達同士の関わりも概ね友好的な反面、生徒同士のトラブルも見られ始めている。
- ・挨拶や言葉遣い、生活態度等に課題が見られる生徒が多い。
- ・自信のなさや困り感を正しく伝えることができない（大きな声を出す、授業に出ない等）生徒がいる。
- ・将来的にはほとんどの生徒が働きたいと希望している。具体的にどんな仕事があるか分からず悩む生徒や大学進学や陸上選手など現実離れた将来の夢を話す生徒が多い。
- ・登校しぶりの生徒が2名いる。

子どもの思いや願い（自立活動の視点も含む）

※「未来へのスケッチ」作成を通して、これから聞き取りをしていく予定。

学習グループ全体で育みたい姿、教師の思いや願い

- ・挨拶や言葉遣い、生活態度等、卒業後の生活の土台となる部分をしっかり身に付けてほしい。
- ・相手の気持ちを考えたり、思いやりのある言動をしたりする姿を増やしたい。
- ・自分に自信をもって活動する姿を増やしたい。
- ・自己理解を深めてほしい。

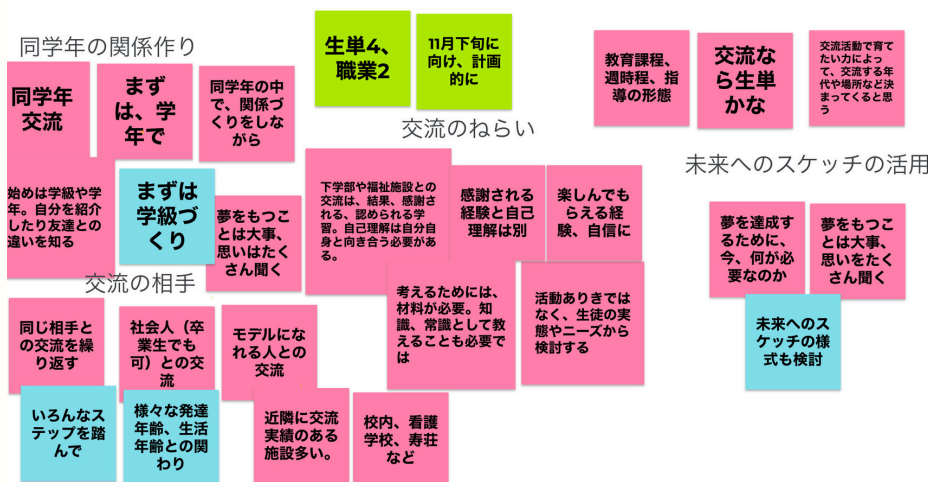
年間の単元計画

- ・他者との関わりを経験する活動を主軸において、学習活動を考えるのはどうかと、学年部では考えている。
- ・他学部との交流（小1の遊びの指導や生活単元学習）
- ・外部（福祉エリア施設）との交流

教師の支援（手立て）

- ・誰かの役に立ったことを実感できるような活動の設定。
- ・一人一人が活躍できるような役割や場面の設定。
- ・教科横断的な学習活動の設定。

<ジャムボードによる話し合いから>



アイディアのまとめ

- ・学級づくりを大切にしつつ、同学年で交流ができればいい。
- ・同じ相手と交流を繰り返す。
- ・段階を踏んで、様々な発達年齢や生活年齢の人と関わる。
- ・近隣の施設との交流を計画する。
- ・活動ありきではなく、生徒の実態やニーズから検討する。
- ・夢をもつことは大事であり、思いもたくさん聞き取って授業に生かす。

